

手這坂で情報交換  
北東北かやぶきサミット開催

11月4日と5日に、北東北3県のかやぶき民家を活用し活動している団体が集まる「北東北かやぶきサミット」が手這坂集落で開催されました。サミットでは、それぞれ活動の事例や課題などを紹介して、意見を出し合い、今後の活動のための情報交換が行われました。

その後、留山での散策や屋根修理の実演、そば打ち体験、建物修理などの体験活動も行われ、5日には郷土芸能「石川の駒踊り」が披露され、他県から参加した方々の交流が図られました。



桃源郷で情報交換

平成18年秋の火災予防運動  
目名瀧地区で防災訓練

秋の火災予防運動期間にあわせて11月5日、目名瀧地区の住民や沢目地区の消防団が参加して「目名瀧地区消防総合訓練」が行われました。

訓練では、サイレンの合図とともに火事ぶれ、119番通報から始まり、住民によるバケツリレーでの初期消火、地元消防団による消火活動、更に隣接の八森地区からも消防団が出動して訓練を行いました。

最後に、参加者らは八峰消防署員の指導により「消火器の正しい使い方」を体験する訓練も行われ、防災意識を高めました。



ホースを握る手にも力が入ります

大切な命を救うために  
普通救命講習会を開催



真剣に講習を受ける参加者

11月11日、普通救命講習会が八峰保健センターで開催され、15名が緊急時の救命措置を学びました。

この講習会は、容態が急変した人の命を守り救うため救急車が到着するまでの正確な知識と手技を学ぶこと、八峰消防署の主催で開催されました。

参加者は、八峰消防署の救急救命士の指導を受けながら、心臓マッサージや人工呼吸を行う心肺蘇生を実践したほか、自動体外式徐細動器(AED)を使っての徐細動を体験。緊急時の技能を習得しようと真剣に取り組んでいました。

この講習会は、今後も定期的開催する予定ですので、その際は是非参加してみませんか。

第2回行政協力員会議  
庁舎建設場所について  
意見を求める



自治会の要望を行政に反映していきます

第2回行政協力員会議が11月24日峰栄館で開催され、各自治会の代表者が集まり、町長及び担当課長らと各地域の要望を協議しました。

今回出された要望は106件で、道路や側溝改良などの建設課への要望が半分を占めました。火災で焼失した峰浜地区の防災無線について、12月中旬に復旧することや、来年度までに戸別受信機対応になることが説明されました。

また、新庁舎の建設場所について「全町の意見を聞きたい」と町長が意見を求めると、「峰浜と八森の中間地点に建設」という意見が多く出されました。

八峰町長と町政を語る会  
町長とひびきを交えて語り合う



住民からの質問に答える加藤町長

町長とひびきを交えて語り合う「町長と町政を語る会」が11月18日の畑谷自治会をかわきりにスタートしました。

第1回は畑谷自治会で開催され、会場となった畑谷生活改善センターには、用意した座布団が全て埋まるほどの住民が集まりました。

はじめに加藤町長が18年度の主要事業や峰浜庁舎の火災、新庁舎建設などについて説明した後、新庁舎の建設場所や除雪などの身近な問題など、住民からの質問に対して、町長や関係課長がその場で答えていました。

今年度は峰浜地区を中心に開催する予定です。

関東峰浜ふるさと会第22回総会開催  
キラタンポ鍋を囲んで  
語り合いました

関東峰浜ふるさと会第22回総会が12月21日東京都のホテル(アルカディア市ヶ谷)で開かれ、総会には、関東一円から約140名が集まり、盛大に開催されました。

町からは加藤町長らが出席し、合併後の町の状況や峰浜庁舎の火災など、ふるさととの近況を会員に報告しました。

参加者は用意された「キラタンポ鍋」を囲み、ふるさとをの味を楽しみながら懐かしい仲間と語り合いました。

また、当会から八峰町へ、峰浜庁舎火災への義援金を頂いたほか、受付に置かれた募金箱に、たくさんの方々が参加して募金を頂きました。心のこもったお見舞いを頂き、ありがとうございました。



盛大に開催された総会

峰浜庁舎火災  
ようやく撤去はじまる



職員が袋に詰めた書類を処分

火災原因の捜査のため警察により現場保存されていた峰浜庁舎の火災跡がこのほど町に引き渡すとなり、本格的な撤去作業を前に11月22日、職員が現場に残っていた書類の回収を行いました。

現場には焼け残った柱や梁、屋根のトタンなどが山積みになされており、キャビネットの中などに燃えずに残った書類などが散乱していました。

書類の中には個人情報が含まれる書類もあり、職員が飛散防止のため書類を袋に詰めて回収しました。本格的な撤去作業は年内に開始される予定です。

季節ハタハタ漁  
港に活気があふれる



港は一気に活気づきます

今年も季節ハタハタ漁のシーズンが到来。県内沿岸のハタハタ漁が11月25日に解禁となり、沿岸にはたくさんさんの網が仕掛けられました。今年の初漁は、昨年より2日遅い12月4日で21キロの水揚げにとどまりましたが、翌日の5日には約9トンと徐々に漁が本格化し、港は一気に活気きました。

岩館・八森両漁港ではハタハタの箱詰め作業や網はずし作業があちこちで見られました。魚体も3歳魚が中心とあって型の良い物が多かったようです。